

コニセソ通信 第5号

神戸市コミュニティ相談センター

(運営: 神戸市自治会連絡協議会/認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸)

[住所] 〒653-0042
神戸市長田区二葉町7-1-18 ふたば学舎1F
[TEL&FAX] 078-643-2900
[Mail] com-center@cskobe.com
[開所日時]
火～土曜日 10:00～17:00
※日・月曜日、祝日、お盆、年末年始などお休み



令和3年度の研修の様子



「コニセソ」では毎年「自治会役員初任者研修」として概ね経験5年以内の自治会役員向けの研修を開催しています。
これまで「コニセソ」が入居しているふたば学舎（長田区）で年1回開催していましたが、今年

一番身近な地域活動でありながら、あまり知られていないのが自治会活動です。いざ運営側になると、何をどうすればいいのか不安に思っている方もいらっしゃるのではないかでしょうか。

新しい年度を迎えるました。今年初めて自治会役員になつた方、なつてしまつた方、なうざるを得なかつた方…よつこそ、自治会の世界へ！

度は神戸市内の東部・西部とそれぞれ1回、全2回で開催することにしました！

さうに、以前は午前9時半にスタートして全体2時間半というボリュームたっぷりの内容でしたが、出来るだけ多くの方に気軽に参加して頂けるよう1時間半とコンパクトにします。



こんな メリット

法人格を取得することにより、自治会名義で契約などの法律行為を行うことができるようになりました。

取得することが可能になりました。

自治会等が認可地縁団体制度により法人格を取得するには、不動産等の保有、又は保有する目的が必要でしたが、地方自治法の改正により不動産等の保有の有無に関わらず、法人格を

自治会で法人格を取得しよう！

認可地縁団体制度が
変わりました

認可地縁団体制度の詳細は、神戸市ホームページの「法人化の手引書」をご覧ください。

神戸市 地縁による団体の認可

検索

問 神戸市企画調整局参画推進課
TEL 078-331-8181(代表)

初任者

研修

自治会役員

開催します。

こんな メリット

法人格を取得することにより、自治会名義で契約などの法律行為を行えるようになりました。

取得することが可能になりました。

自治会等が認可地縁団体制度により法人格を取得するには、不動産等の保有、又は保有する目的が必要でしたが、地方自治法の改正により不動産等の保有の有無に関わらず、法人格を

自治会で法人格を取得しよう！

認可地縁団体制度が
変わりました

認可地縁団体制度の詳細は、神戸市ホームページの「法人化の手引書」をご覧ください。

神戸市 地縁による団体の認可

検索

問 神戸市企画調整局参画推進課
TEL 078-331-8181(代表)

西部開催

開催日時
7月2日(土)
10:30～12:00

開催会場
プレンティ西神中央
(神戸市西区糀谷5丁目2-3)
神戸市営地下鉄
西神・山手線にて
「西神中央駅」下車
徒歩1分

東部開催

開催日時
7月9日(土)
10:30～12:00

開催会場
東灘区文化センター
(神戸市東灘区
住吉東町5丁目1-16)
JR・六甲ライナーにて
「住吉駅」下車
徒歩約3分

各回定員
30名

対象
自治会役員を概ね5年以内の経験者

申込み・問合せ
神戸市コミュニティ相談センターまで

費用
無料

取材報告

『誰もが地域の一員として暮らせることへ』

取材日

2022年4月4日（月）

【一般社団法人さんでーかふえ】



神社清掃の様子

東灘区北青木の春日神社境内を定期的に掃除しているのは、「一般社団法人さんでーかふえ」の就労継続支援B型事業所（福祉作業所）「ぼいあぽい」のメンバーさんです。代表の加納さんは「地域の力になりたい」と、設立時より北青木自治会に加入して地域の一員として活動しています。



と作業量を確認し、2020年8月から正式にスタート。今では、2～3人のメンバーと共に週2～3回お掃除しています。お参りに来た方から「ありがとう」と言われるなどがメンバーの励みとなり、地域の役に立つてみると実感できるそうです。

「地域のことは
地域で担う」こ

とで、顔が見える関係づくりができるいました。

神戸市自治連 「あいさつ・ 声かけ委員会」 実践スタート!

生駒市のやまびこネットワーク
清水代表をお招きした懇談会

『情報交換 &交流会』

グループに分かれて
活発に意見交換

自治会には折に触れて「お手伝いできることがあれば声をかけてください」と話していたところ、春日神社と近隣の墓地のお掃除のお話しを頂きました。これまでお掃除を担っていた有償ボランティアの方が高齢化により困難が生じ、自治会長の藤原さんが神社の奉賛会と墓地管理会へ一般社団法人さんでーかふえへの依頼を提案してくださったそうです。最初にトライアル（お試し）をして作業内容

北青木自治会長 藤原敏之さん

福祉作業所の加入について不安に思う役員もいましたが、加納さんから「一緒におやつを食べませんか」とお誘いを頂きました。メンバーの方とふれあう中で、お互いを知り、不安を取り除くことが出来ました。事業所ではお米や野菜も販売されているので、よく買い物にも行きますよ。

「コロナ禍の長期化によって住民同士の交流の場がなくなり、コミュニケーションが希薄になってしまった」と多くの自治会で懸念されています。そこで神戸市自治会連絡協議会では、コロナ禍において地域の絆を保つために自治会は何ができるかを考え、「まずは挨拶から始めよう」と、昨年12月に有志4名の

前回講座の参加者から「自治会同士で情報交換をする場が欲しい」という要望をお聞きし、3月19日に「情報交換＆交流会」を開催しました。

はじめに参加者それぞれが思う「自治会ってなに？」を会場全体で共有した後、今日話し合いたいテーマをあげてもらい、各自が「話したい」と思つグループに分かれ話し合いました。アンケートでは今回の講座で役に立つ情報が「具体的にあった」「参考になった」という声が多かったものの、「行政サイドの力強い支援が欲しい」という意見や、自治会を支える中間支援組織を希望する意見もあり、自治会だけで解決できない現実がある」とも見えてきました。

コミセン講座開催レポート

かれて話し合いました。出されたテーマは①会則・会計について、「②若じ世代も担える自治会」「③自治会ってなに?」、「④役員会の運営」の4つで、どのグループも多様な意見交換がおこなわれていました。今回は自治会員ではなくて自治会を支えたいと思っているサポートが数名いたことで、課題を客観視することができたのではないかでしょうか。

その後も挨拶運動の事例として奈良県生駒市の一分校小学校区市民自治協議会（やまびこネットワーク）の清水泰之代表をお招きして、同校区で展開されている挨拶通りのお話しを聞き、意見交換をおこないました。その後も挨拶運動の事例として奈良県生駒市の一分校小学校区市民自治協議会（やまびこネットワーク）の清水泰之代表をお招きして、同校区で展開されている挨拶通りのお話しを聞き、意見交換をおこないました。これらの学びから、令和4年度は神戸市内において世代を超えた「あいさつ・声かけ運動」の実践をしようとして、各地域との連携を始めています。